

情報

くまもと経済ニュース

くまもと経済 NEWS

「地デジ」放送スタート



12月1日に行われた式典の様。地元5局の女性アナウンサーによる「地デジ推進大使」が放送開始をアピールした

03年に関東圏などでスタートした地上デジタル放送が12月1日、県内でも始まった。同放送は高画質、高音質でより高度なデータ放送や双方向性などが特徴。現在、金峰山上の中継局から全世帯の約85%をカバー。アナログ放送終了の11年7月までに県内全域で視聴できるようにする。



各放送局の代表らがくす玉を割り、地デジの放送開始を祝った



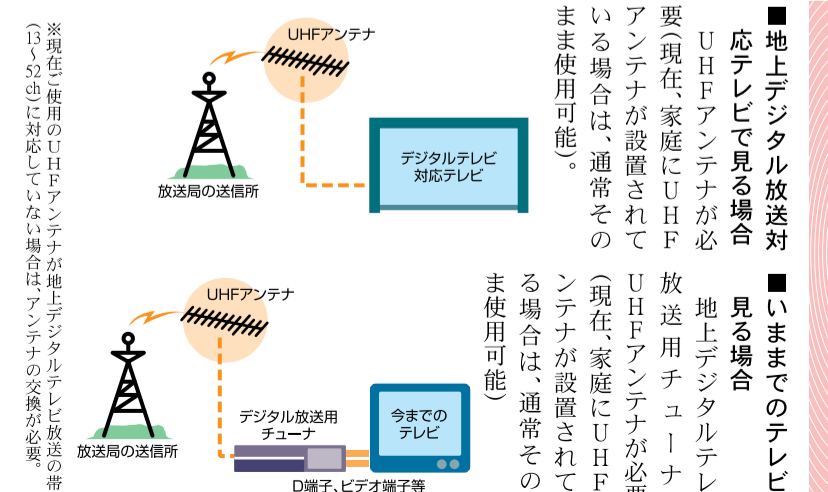
リモコン番号は県内統一になる。各局の番号をPRする地デジ推進大使

地上デジタル放送とは？ デジタル方式とは映像や音声をと1のデジタル信号に置き換えて送信すること。従来のアナログ方式と比べて、全国どこでもより高品質な映像と音声を受信することができる。

メリットは？

- 高画質な映像や高音質の音声サービスを実現。テレビ画面の番組案内から好きな番組を簡単に選んだり、録画予約をすることが可能。
● ハイビジョン1チャネル分、現行のアナログ放送と同じ標準画質(SD)の2〜3番組を同時に放送することができる。
● データ放送により、交通情報や天気予報、お料理のレシピなど、くらしに役立つ最新情報や、地域に密着した情報をいつでも入手することができる。
● テレビから電話回線を経由して、家庭からクイズ番組に参加したり、期待できるぞうだ。

どうやったら見られるのか？



※現在使用中のUHFアンテナが地上デジタルテレビ放送の帯域(13〜52ch)に対応していない場合はアンテナの交換が必要。

技に生きる

「もろぶた」「かめ仕込み」昔ながらの製法守り

那須酒造場(球磨郡多良木町)

蒸し器から取り出された酒米から、の生徒たちの目ももうもうと湯気が。好奇心に輝く。創業大正6(1917)年の球磨...



▲モンドセレクション最高金賞を受賞した「鴨の舞」を持つ4代目・那須雄介さん(27歳)



蒸し器から酒米を取り出し、あら熱を取る。仕込みは10月から5月まで。取材日には多良木町立久米小学校の児童が見学に訪れていた

蒸し器から取り出し、あら熱を取る。仕込みは10月から5月まで。取材日には多良木町立久米小学校の児童が見学に訪れていた



▲一次仕込みの酒米を蒸す様子。見学の小学生も体験

産業の轍

チツソ(株)白川発電所

1914(大正3)年



大津町外牧にある白川発電所。写真左側を白川が流れる

チツソ(株)東京都 908(明治41)年ソ株水俣製造所に所有する菊池郡... 1914(大正3)年、成元(1914)年に無人化発電所は、1911年に稼働させた...



▲建物内部。1号機(手前)と2号機(奥)の発電機が24時間稼働する。機器内部のコイルなどは更新しているが、外側(グレー部分)は一部大正期の物を使っている。現在は無人化されているが、水俣製造所動力部水力課が定期的にメンテナンスしている